

本院の連携医療機関である先生をご紹介します。

◆稲田内科◆ 院長 稲田貴先生、副院長 稲田暢先生

所在地：伊予市下吾川381-1 Tel：089-983-3003

開院：昭和56年9月19日

診療科：内科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、
循環器内科

休診日：木曜日午後、日曜日、祝祭日

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 12:30	○	○	○	○	○	9:00 ～ 16:00
13:30 ～ 18:00	○	○	○	-	○	



本院は今年開院35周年を迎えました。一般内科のほか、院長が呼吸器・循環器、昨年4月に就任した副院長が糖尿病・消化器を専門とし、地域に貢献することを第一に考えて診療にあたっております。糖尿病の専門医がいるのは近隣では本院のみで、上部内視鏡検査も行っています。

松山市民病院は、院長が昔勤めていたことがあり、病院主催のDM連携サークルや内科病診連携勉強会にも参加していますので、内科に顔見知りの先生が多くいらっしゃいます。また、いつも早くスムーズに対応して



いただけるので患者さんを紹介しやすく、最近は患者さんから検査の要望も強いので、総合的な診療力のある病院として頼りにしています。本院は高齢の患者さんが多いのですが、松山市民病院の近くにはJRと伊予鉄の駅が両方あり、自宅から利用しやすい交通機関を選べるのも大きな利点だと感じています。

今後は内科以外の科の先生方ともつながりができるよう、勉強会等の機会を設けていただき、顔の見える連携をより深めていきたいと考えております。これからもよろしくお願いたします。



はな・一期一会 Vol.31



桔梗

学名：Platycodon grandiflorus



英名：Balloon flower
大洲市

桔梗は極めて長い歴史を持って古来咲き続けている花で、その昔、詩や和歌にもよく詠まれている。多年草であり、吉梗(キチコウ)から桔梗(キキョウ)になったとされ、つぼみが風船状に膨らむことから、Balloon flowerと呼ばれている。また、家紋にもあり、花の形のみ、丸に桔梗、三つ割桔梗、三つ葉花桔梗、細桔梗、抱き桔梗などがある。ちなみに本能寺の変の明智光秀は、この桔梗紋である。花色は、写真にある青紫、白の他に紫、青、赤、ピンクが知られている。花言葉は「永遠の愛」「誠実」「清楚」「従順」などである。「春は菜の花、秋には桔梗、そして私は夜咲くアザミ」と歌詞にもあるように、秋の代表的な花である。(写真・文／大祐祐治)

お知らせ

INFORMATION

定礎式

平成28年6月30日(木)、新南病棟の定礎式が行われました。定礎板には新南病棟が完成した「平成28年6月」と刻まれており、内側に病院広報誌や写真、定礎式当日の新聞、建築に関する資料などを納めた定礎箱が埋め込まれました。定礎箱は次に建物を解体する時まで開けられることなく、病院とともにその歴史を重ねていくことになります。



永頼サマーフェスティバル

平成28年8月26日(金)、いよてつ高島屋屋上ビアガーデンにて行われました。夏のレクリエーション行事として2回目の開催とな



った今年は301名(うち子供9名含む)の職員が参加し、浴衣姿の人も見受けられました。暑いながらも時折吹く夜風が心地よく、職員同士の交流を深められた楽しい会となりました。

当院は敷地内禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願いします。

編集後記

長かった猛暑もようやく一段落し、実りの秋がやってきました。旬の食材を楽しみながら、夏の疲れを癒し、自分の「実の入る」ことを大切に過ごしたいです。(広報委員会)